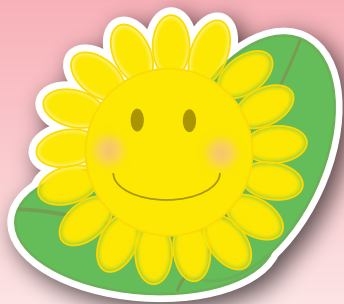




ご自由にお持ち帰りください

■企画・編集・発行/マツダ病院季刊誌編集会議
■2025年7月発行
■季刊誌



マツダ病院だより

ひまわり

80



摂食嚥下センターメンバー

CONTENTS

- 摂食嚥下センター開設
- 手指衛生キャンペーンの開催/三ツ矢会総会の報告
- 海田 陸上自衛隊感謝状表彰/MAZDA ORIZURUPROJECT 活動/院内 外来棟オムツ交換台設置のお知らせ
- 安芸地区医師会病診連携協議会/七夕コンサートの開催
- 地域のドクター便り:おりた内科循環器クリニック/公開医療講座:あなたの肝臓は大丈夫?
- 外来診療のご案内

マツダ病院理念

マツダ病院は温かい思いやりの心で最新・最良の医療を提供し社会に貢献します

基本方針

1. 患者さんの立場になって、心のこもった医療を提供します
2. 医療の安全を徹底し、信頼される病院を目指します
3. 地域の中核病院として、近隣医療機関との連携を図り、地域医療の向上に努めます
4. 最新・最良の医療を提供するため、常に研鑽に励みます
5. 自主・自律(立)の精神のもと、一人ひとりが生き生きとした、働きがいのある病院を目指します
6. 医療資源の活用を図り、健全な経営の確保に努めます

摂食嚥下センター を開設しました

摂食嚥下センター
主任部長 有田 裕一



主任部長 有田 裕一

当院では2025年6月1日摂食嚥下センターを開設しました。
取り組みやスタッフを紹介いたします。

思い起こせば、2008年9月から栄養サポートチーム(NST)活動の一部として嚥下機能評価を開始しました。当時は院内に摂食嚥下に関して専門的に携わる医師はおらず、専門書や学会、講習会に参加し研鑽を深め、この仕事に携わってきました。現在は後述のように多職種の支援を受けながら従事することが出来ております。

昨今の高齢化社会の進展に伴い、摂食嚥下障害はますます重要な医療課題となっています。摂食嚥下障害の原因としては脳血管障害、神経変性疾患、頭頸部疾患治療後、頸椎の変形性病変、認知症など、「運動障害性」「器質性」また「心因性」といった様々な要因があります。また薬剤の副作用に因ることもあります。

摂食嚥下障害が進行すれば、食事や水分の摂取が困難になるだけでなく、誤嚥性肺炎や栄養状態悪化で生命に関わる重大な問題を引き起こす可能性があります。またそれに伴うサルコペニア^(※)の進行も懸念され、早期発見と適切な治療が求められます。

当センターのメンバー構成は以下の通りです。専任、兼任と職種により様々な関わり方はありますが、多職種が連携して診療にあたり、患者一人ひとりの状態に応じたオーダーメイドの治療プランを提供し、QOL(生活の質)の向上を目指します。

メンバーの職種

- | | |
|-------------|---------|
| ● 歯科医師 | ● 薬剤師 |
| ● 耳鼻咽喉科医師 | ● 管理栄養士 |
| ● 認定看護師、看護師 | ● 言語聴覚士 |
| ● 歯科衛生士 | ● 作業療法士 |

摂食嚥下障害に関して全身状態や精神症状に左右されること

は多々あり、各科医師と連携し、リハビリや治療を進めています。

対象患者のほとんどは誤嚥性肺炎など何らかの疾患で当院に入院された方ですが、他急性期病院での治療後に摂食嚥下障害の残存があり、継続的なリハビリテーションが必要と判断されれば、治療内容やリハビリテーションの進捗状況を詳細に引き継ぎ、患者さんがスムーズにリハビリテーションを継続できるよう支援いたします。

摂食嚥下センター独自の対応としては以下がございます。

- ☒ 嚥下機能評価入院(原則2泊3日)
- ☒ 嚥下リハビリテーション入院(原則2週間)
- ☒ 外来受診での嚥下機能評価

具体的診療内容

■ 検査 ■

嚥下造影検査(VF検査)、内視鏡下嚥下機能検査(VE検査)を実施し、嚥下機能の詳細な評価を行います。また食事摂取を安定させるための手技(代償的嚥下法)の有用性の検討を行います。さらに再評価を行うことで、嚥下リハビリテーションの再立案やその方の嚥下機能に関する伸びしろの判断も行います。また、患者本人のベースの嚥下機能や今後の予後をある程度見極めるために、頭部CTや頭部MRI検査も併せて行うことがあります。

■ 嚥下訓練 ■

言語聴覚士などによる嚥下訓練を通じて、嚥下機能の改善を図ります。個々の患者に最適な訓練方法を提案いたします。

■ 食事形態の調整 栄養管理 ■

管理栄養士と連携し、患者の嚥下能力に応じた食事形態を提案し、ONS(経口栄養補助食品)も含めて検討し、栄養状態の改善を図ります。また必要に応じて適切な代替栄養法(経鼻経管栄養や胃ろうなど)の検討を行います。

■ 薬物療法 ■

必要に応じて、精神科・心療内科医師などと連携し、嚥下機能を改善するための薬物療法や嚥下機能を悪化させる薬物（抗精神病薬など）の調整を行います。

■ 手術 ■

重度の嚥下障害に対しては、最終的には外科的治療も検討いたしますが、これに関しては、今のところは他病院へコンサルトすることになります。

■ 家族との連携 ■

ご家族の方にも現状の嚥下機能と適した食事形態、また今後の見通しを説明し、家庭でのサポート体制を整えます。

専任看護師の立場から

～地域連携による切れ目のない食支援を目指して～

摂食嚥下センター

摂食嚥下障害看護認定看護師 松岡

聖剛

高齢化が進む中で、摂食嚥下障害は在宅や施設においても大きな課題となっており、誤嚥性肺炎や栄養障害のリスク、さらには「食べる喜び」の喪失といった影響が懸念されています。当センターでは、医師・歯科医師、看護師、歯科衛生士、薬剤師、管理栄養士、言語聴覚士、作業療法士など、多職種が一体となり、評価から支援、指導までを一貫して提供する体制を整えております。

私は摂食嚥下障害看護認定看護師として、これまで急性期から生活期に至るまで、さまざまな場面で摂食嚥下支援に携わってまいりました。センター開設を機に、さらに専門性を高め、患者さん一人ひとりの生活に寄り添った看護を実践していきたいと思っています。

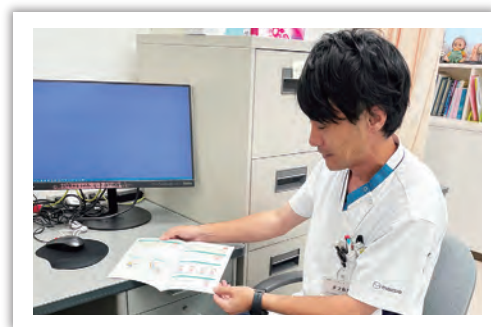
看護の立場からは、「その人がその人らしく食べることを支える」ことを大切にしております。嚥下障害のある方の多くは、食事に対して不安を感じておられます。そうした気持ちに寄り添いながら、

■ 地域医療機関との連携 ■

摂食嚥下障害患者に対しての治療は入院期間中に完結出来ないこともあり、当院の「地域連携センター」と情報を共有、地域の医療機関や介護施設との連携を強化します。地域の医療関係者の皆様とも情報を共有し、連携を深めることで、より質の高い医療サービスを提供してまいります。

摂食嚥下センターの開設により、地域の皆様により一層の安心と信頼を提供でき、地域医療に貢献できるようスタッフ一同全力を尽くしてまいります。

※筋肉が衰え、筋力や身体機能が低下している状態



安全かつ楽しく食べることができる環境づくりに努めてまいります。ご本人・ご家族からの「食べづらくなったけれど、どこに相談すればいいかわからない」「自宅での介助の方法が知りたい」「安全な食事形態とは？」といった疑問に対し、一緒に解決策を考えて、必要に応じて、地域の医療・介護資源とも連携し、切れ目のない支援体制を整えていきたいと思っています。

また、安芸地区の医療機関や介護施設との連携も、当センターの重要な役割と考えています。院内の支援にとどまらず、地域の医師・訪問看護師・ケアマネジャーの皆さまと連携を図りながら、在宅や施設での食支援の質向上を目指していきます。嚥下評価依頼や食事内容の検討、ケア方法の指導など、必要に応じて専門的な支援を提供していきたいと思っています。

地域に開かれた摂食嚥下支援の拠点として、皆さまに信頼されるセンターを目指し、スタッフ一同努力を重ねてまいります。何かお困りのことがございましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

検査の様子



手指衛生キャンペーンの開催

マツダ病院院内感染対策チーム(ICT)
事務局 薬剤師 勝谷 和馬

院内感染対策チーム(ICT)は、様々な感染症から患者さんや病院職員を守るために、病院全体の感染対策に多職種で活動する組織です。院内活動だけでなく、地域の感染対策の質向上に向けた活動も行っています。

5月5日は「世界手指衛生の日」

WHO(世界保健機関)は2009年以来、5月5日を「SAVE LIVES: Clean Your Hands」をスローガンに手指衛生を呼びかける記念日とし、グローバルなキャンペーンが展開されています。当院でも「世界手指衛生の日」にあわせて、感染対策の基本を実践的に学ぶ機会として5月26日から30日までの5日間、「手指衛生キャンペーン」を開催しました。



手指衛生キャンペーン開催

今回は院内職員に加え、近隣クリニックや訪問看護ステーションの方々にもご参加いただき、盛況なイベントとなりました。キャンペーンでは、手指衛生に加え、个人防护具やN95マスクの適正使用など、感染対策全般を対象とした実践的な内容を実施しました。



①N95マスクのフィットテスト:

専用の機器を用いてマスク着用時の息(空気)の漏れ率を数値化し、正しい装着方法を確認しました。

②个人防护具の着脱トレーニング:

蛍光塗料を汚れに見立てて手袋・エプロンに塗布し、脱ぐ際に手や衣服へ汚染が広がっていないかを可視化し、正しい着脱手順を学びました。

③ブラックライトを用いた手洗い評価:

手指に蛍光塗料を塗布して手洗い後、ブラックライトで照らすことで洗い残しの部位を可視化しました。特に親指や指先、指の間といった洗い残しの多い部位を確認でき、普段の手洗いの癖を見直す機会となりました。



参加者からは、「実践形式で理解が深まった」など、前向きな感想が多く寄せられました。感染対策は院内職員だけでなく、地域の皆さまとも協力しながら取り組むことが大切だと考えています。感染対策に関するご相談も随時受け付けておりますので、お困りのことや気になることがございましたら、どうぞお気軽にご連絡ください。



マツダ病院ホームページ(感染対策・治療相談窓口)

三ツ矢会総会の報告

糖尿病内科 岸本 瑠衣

6月7日(土)、マツダ病院外来A棟6階食堂で、2025年度マツダ病院糖尿病友の会「三ツ矢会」の総会及び講演会、食事会を開催いたしました。

参加 22名(内スタッフ6名)

特別講演 講師: 糖尿病内科 辻主任部長

テーマ 「糖尿病と腎臓」

講演では、糖尿病腎症は糖尿病三大合併症の一つで、腎臓を悪くしないために、血糖をよくすること、減塩を行うことが重要であることなど話がありました。

その後は、みなさんお待ちかねのタニタカフェお弁当による食事会です。

一日の半分の野菜が入った野菜たっぷりのお弁当でした。食事の後は意見交換や談笑したりすることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。



海田 陸上自衛隊感謝状表彰

この度、陸上自衛隊海田駐屯地よりマツダ病院に感謝の表彰状を頂きました。災害時の救急搬送先病院としての対応、隊員の皆様の健康診断や救急時の受入れなどが評価されたものです。



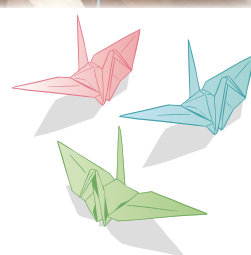
「MAZDA ORIZURU PROJECT」活動

マツダ(株)では、「折り鶴」で世界中のマツダの仲間と地元広島をつなぎ、平和を願い続けることを目的とし2020年から当「折り鶴プロジェクト」活動を開始、マツダ病院も参加しています。戦後80年の節目を迎える本年度も4月10日～5月1日の期間で実施しました。

例年は病院職員のみで実施していましたが、今回は患者さんやご家族の方にも参加していただけるよう、初診受付に折り紙コーナーを設置しました。その結果、多くの方々にご参加していただきマツダ病院で約800羽の折り鶴が集まりました。



集めた折り鶴は、福祉作業所で糸通しが行われた後、平和公園に献納します。その後折り鶴は、再生紙としてマツダのオリジナルグッズ(ノート、付箋など)に生まれ変わり、教育支援活動などで子どもたちにプレゼントします。折っていただいた折り鶴が、平和の発信と社会貢献につながるよう祈りをささげたいと思います。



CS活動

院内 外来棟オムツ交換台設置のお知らせ

施設利用者の方の声を反映し、外来棟2階・3階にオムツ交換台を追加設置しました。

	南 側		北 側	
	男子トイレ	女子トイレ	男子トイレ	女子トイレ
3階		○	○	○
2階	○	○		

※上記以外に外来棟1階のバリアフリートイレ(旧名:多目的トイレ)にも、設置しています。



左のマークをドアに貼っていますのでご確認ください。



地域連携センターの活動紹介 その15



「安芸地区医師会・マツダ病院 病診連携連絡協議会」を開催

6月19日(木)、「2025年度 安芸地区医師会・マツダ病院 病診連携連絡協議会」を開催しました。この協議会は、安芸地区医師会とマツダ病院の共催で、安芸地区の医師や訪問看護ステーションの看護師等の方々の情報共有と親睦を図ることを目的に毎年実施しているものです。



ハイブリッド形式での開催で、会場67名(院外29名、院内38名)、WEB23名、合計90名の方にご参加いただきました。

【内 容】

- マツダ病院の現況報告
- マツダ病院診療科・医師紹介
- 感染講話
- 懇親会

司 会



安芸地区医師会
豊田 紳敬 副会長

挨 拶



安芸地区医師会
水野 正晴 会長



安芸地区医師会
魚谷 啓 副会長



マツダ病院
田村 徹 病院長

マツダ病院の現況報告および診療科・医師紹介



マツダ病院
住居 晃太郎 副院長

マツダ病院への患者紹介実績など連携の現状について報告しました。



マツダ病院
月坂 和宏 副院長

各診療科の代表医師により、診療科のアピールポイントと医師の紹介を行いました。



向洋こどもクリニック
梶梅 輝之 先生

感染講話

「安芸地区医師会 公衆衛生委員会・学校医委員会活動」をテーマに講演いただきました。ユーモアを交えながらの講演に皆興味深く聞き入り、参加者はリラックスしながらも重要な知識を得ることができ、大変有意義な時間となりました。

懇 親 会



懇親会は終始和やかな雰囲気で行われました。マツダ病院OBの医師たちとの交流もありました。

今後もこのような交流の場を設け、「顔の見える関係づくり」をキーワードに、地域の皆様と繋がる活動を継続してまいります。過去のイベントや今後の開催予定につきましては、マツダ病院オフィシャルホームページ(右QRコード)に掲載しております。



◀オフィシャルHP
医療関係者向けイベント

センターへの問い合わせ 地域連携センター Tel.082-565-5014

七夕コンサートの開催

7月4日(金)混声合唱団コールエコー様をお迎えし、七夕コンサートを行いました。

例年に比べ多くの方に参加いただき、会場は美しいハーモニーに包まれました。

最後は、ご参加いただいた皆さまとともに「カープの応援歌」を合唱し、心温まるコンサートとなりました。





おりた内科循環器クリニック

院長：折田 裕一

住所：広島市南区青崎1丁目2-14
YMFGオールヘルスケアタウン3F

電話：082-890-8150

診療科目：内科・循環器内科

診療時間：月・火・木・金曜日：9:00～12:30/15:00～18:00
水・土曜日：9:00～13:00（午後休診）

休診日：日・祝日・水曜日と土曜日の午後

疾患ですので入退院を繰り返す事が多くなります。そのため日々のケアや治療がとても大切です。患者さんが途中で治療を中断したり諦めたりしないように、スタッフ全員で患者さんやご家族をサポートするように心がけています。

● 地域連携についてどのようにお考えですか？

病院の医師とクリニックの医師が診療情報を共有することは患者さんにとって安心して医療を受けるためにはとても大切な事です。日頃からお互いが交流していないと成り立ちませんがマツダ病院は私どもクリニックに対して連携を深める企画（講習会など）を数多く開催してくださるので情報交換も容易で非常に助かっています。

● 最後にマツダ病院に要望することがありますか？

循環器疾患の患者さんを紹介するときは急を要する事が多いですが、いつも迅速・丁寧に対応していただき大変感謝しています。地域の基幹病院として頼りにしていますのでどうぞよろしくお願い致します。

● 先生の専門分野についてお聞かせください。

今までマツダ病院をはじめ広島県内の複数の中核病院で急性心筋梗塞や急性心不全などの急性疾患を20年ほど診療し、2021年にマツダ病院の近くに開院いたしました。

これまでの経験を元に循環器疾患の新規発症の抑制や再発の予防そして高血圧、糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病の診療に力を入れています。またコロナ後も発熱外来を継続して地域の皆様のお役に立てよう心がけています。

● 先生が日頃、心がけていることを教えてください。

心筋梗塞や心不全、脳梗塞症などの循環器疾患は慢性

公開医療講座

あなたの肝臓は大丈夫？ 肝臓が泣くも笑うもあなた次第

6月26日（木）船越公民館で肝臓についての医療講座をおこないました。

講座は二部構成で、第一部はクイズ形式で肝臓への関心をもってもらい、第二部では長沖医師より肝臓の病気や予防についての講話で楽しく学べる時間となりました。



講座中の様子



肝炎チームのメンバーのスタッフ

外来診療のご案内

(2025年7月1日現在)

			月	火	水	木	金	
内 科	午 前	初診	1診	實綿倫(消)	岡田(循)	難波(消)	牛尾(呼)	池上(循)
		循環器・消化器・糖尿病・呼吸器	2診	三保(循)	富本(循)	牛尾(呼)	富本(循)	實綿慶(呼)
			3診	岸本(糖)	池上(循)	岡田(循)	山本(循)	山本(循)
			4診	大成(呼)	岸本(糖)	辻(糖)	大成(呼)	辻(糖)
			5診	住居(循)	實綿慶(呼)	住居(循)	長沖(消)	長沖(消)
			6診	高橋(呼)	黒田(消)	三保(循)	岸本(糖)	黒田(消)
			7診	平田(消)	田村(消)	平田(消)	實綿倫(消)	難波(消)
			8診					高橋(呼)
	午 後	専門外来		黒田(消)	山本(循)	田村(消)	住居(循)	岸本(糖)
				辻(糖)	大成(呼)		辻(糖)	
					白神(消)		三保(循)	
	TEL 082-565-5024							
※午後は再診のみ								

小児科	午 前	鎌田立石*	安井(鎌田)	鎌田安井	鎌田	安井鎌田
	午 後	鎌田	安井鎌田	鎌田安井	鎌田	安井鎌田
	TEL 082-565-5026 診療受付時間:AM8:15~11:30/PM13:30~15:00 *立石医師 第1・第3月曜日のみ(予約制) ※診察は予約制です。当日受診を希望される方は、お電話ください。					

外 科	午前	1診		赤木		赤木	
		2診	羽田野	林谷	林谷	林谷	
		3診		羽田野		羽田野	
	TEL 082-565-5027						
※午後は検査、手術又は特殊外来							

ハイブラック 外来	午 後		影本			
ハイブラック(HIPRAC)外来・・・高精度放射線治療外来 第1・第3火曜日(14:00~16:00)のみ(予約制)						

脳神経 外 科	午 前	橋本	橋本	橋本	橋本	橋本
	午 後					
TEL 082-565-5122 受付時間(8:15~11:00) 診療時間(8:45~11:00)						

麻酔科	午 前	岡田	権	城山	権	岡田
TEL 082-565-5605						

精神科 心療内科	午 前	萬谷(初)	萬谷(再)	萬谷(再)	萬谷(再)	萬谷(初)
TEL 082-565-5037 ※月・金曜日は初診(完全予約制)のみ						

			月	火	水	木	金
整形外科	午 前	1診	月坂	月坂(初)	菊川(初)	菊川	月坂
		2診	露口(初再)	露口(初再)	住元(初再)	住元(初再)	露口(初再)
		3診	菊川	辻(初再)	田中	田中(初)	田中(初再)
		4診	安達(初再)			安達(初再)	辻(初再)
	午 後		手 術				
	骨粗鬆症外来 (予約制)					田中*	
	TEL 082-565-5030		診療時間:午前(11時まで) *木曜日午後 骨粗鬆症外来(予約制):13:00~15:00				

皮膚科	午 前	大塚石田	大塚石田	大塚石田	大塚石田	大塚石田
	午 後	大塚石田	手術石田	大塚石田	手術	大塚*石田*
	TEL 082-565-5033 診療時間:午前(11時まで)・午後(14時まで) 第3水曜日は休診 *第1・第3は石田医師 *第2・第4は大塚医師					

泌尿器科	午前	1診	甲田		甲田		甲田
		2診	藤田	担当医	藤田	担当医	藤田
		3診	井村		井村		井村
	午後		ESWL 検査	手術	ESWL 検査	手術	ESWL 検査
	TEL 082-565-5032 診療受付時間(11:00まで)						

眼 科	午前	1 診	清水(初)	清水(初)	清水(再)	清水(再)	清水(初)
		2 診	多田(再)		多田(初)	多田(初)	
	午後	手術	清水	手術	多田	清水	
		TEL 082-565-5034					

耳 鼻 咽喉科	午前	1診	福入		福入		福入
		2診	和田	担当医	和田	担当医	和田
	午後	1診	福入	手術	検査	手術	福入
		2診	和田				和田
	TEL 082-565-5035						

歯 科 口腔外科	午 前	坂本 小林	坂本 小林	坂本 小林	坂本 小林	手術
		広大医師 嚥下 有田				
	午 後	坂本 小林	坂本 小林	坂本 小林	坂本 小林	手術
		広大医師				
	TEL 082-565-5036 診療受付時間（11:30まで）※午後は予約、急患のみ ※金曜日午前・午後は手術日です					

※担当医の(初)は初診の日になります。
※6/17 ~ハイブラック外来再開します。

受付時間

午前8:15~11:30

(但し、整形外科、脳神経外科、皮膚科、
泌尿器科、眼科は11:00迄)

午後12:45~14:00

(歯科口腔外科は15:00迄)

休診日

原則として、土、日、祝日、年末年始

アクセス

JR ご利用の場合 ▶ JR 向洋駅より徒歩3分

バスご利用の場合 ▶ 向洋駅前・マツダ本社前 下車徒歩1分

お車をご利用の場合 ▶ 駐車場約140台

広島方面(広島駅)から県道164号線を海田方面に約4km
海田方面(大正交差点)から県道164号線を広島方面に約3km



マツダ株式会社
マツダ病院



〒735-8585 広島県安芸郡府中町青崎南2番15号
TEL.082-565-5000(代表)FAX.082-565-5138

official site : <http://hospital.mazda.co.jp/>

